

加古川市立中央図書館だより

(発行)加古川市立中央図書館

〒675-0101

加古川市平岡町新在家1224-7

(TEL) 079-425-5200

(FAX) 079-425-6696



ぶっくガーデン

NO.255 -2024年2月-

(URL) <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kakogawa/>

夫婦とは…

2月2日は、「夫婦の日」です。他人だった二人が家族となり人生を共に過ごす夫婦。そんな夫婦にまつわる本を読みましょう。



・ふたりぐらし

桜木 紫乃

新潮社

F-サ

信好は映画技師として働いていましたが仕事が減り、今は映画評論家でも脚本家でもなく、職に就いているとは言えない立場です。そのため、看護師として働いている紗弓と一緒に暮らす生活はつましいもので、子どもを望むこともままならない状況でした。

・共働きのすごい対話術

あつた ゆか

クオメディア・パブリッシング

367.3-ア

家事の分担、仕事上のキャリア問題、育児との両立など、共働きの二人にはモヤモヤすることがたくさんあります。そこを、お互いに協力して理想的な生活を送るには、「対話」が必要だと著者は述べます。その対話の方法を学んでみませんか。

・あの胸が岬のように遠かった

永田 和宏

新潮社

911.1-ナ

妻の歌人・河野裕子が六十四歳で亡くなってから、遺品整理をしていた夫の著者は、若かりし頃に二人が交わした手紙や妻の日記を見つけます。歌人でもある著者が妻と出会ったのは二十歳になったばかりの頃でした。それからの二人の青春時代を短歌とともに綴っています。

・老後の資金がありません

垣谷 美雨

中央公論新社

F-カ

篤子の夫は今57歳。定年まであと3年しかありません。65歳まで勤められるとはいえ、お給料は下がります。ところが、娘の結婚式に大きなお金がいるという話がおこります。50歳を境に、夫がこんな男だったかと気づいた篤子…。夫婦の老後はどうなるのでしょうか。

・ゲゲゲの女房

武良 布枝

実業之日本社

726.1-ム

マンガ『ゲゲゲの鬼太郎』の作者・水木しげるは、本名を武良茂といい、戦争で左腕を失っていました。そんな茂とお見合いをしたのが、この本の著者である布枝(ヌエ)です。当時29歳になっていた布枝は、10歳上の茂と5日後にスピード結婚しますが、二人の生活は貧しいものでした。

・定年後夫婦のリアル

大江 英樹ほか

日本実業出版社

367.3-オ

・大丈夫、いつもそばにおるよ

坪井 恵

Clover 出版

916-ツ

・朝星夜星

朝井 まかて

PHP 研究所

F-ア

・誰かと暮らすということ

伊藤 たかみ

角川書店

F-イ

・草を褥に

大原 富枝

小学館

F-オ

・白薔記

佐藤 雫

KADOKAWA

F-サ

・オレンジ・ランプ

山国 秀幸

幻冬舎

F-ヤ

■■ 図書館カレンダー ■■

★開館時間 月～土曜日： 午前10時～午後8時 日・祝休日： 午前10時～午後6時

★休館日 第2・第4月曜日(祝日のときは翌日が休館)、資料整理期間、年末年始(12/29～1/3)

【2月の休館日】 13日(火)、26日(月)

【3月の休館日】 11日(月)、25日(月)



図書館からのお知らせ

● システムメンテナンスにともなう休館等について（市内全館）

システムメンテナンスにともない、市内4図書館(室)が
全て休館となります。

図書館ホームページも終日停止を予定しています。

ご不便をおかけしますが、ご理解、ご了承のほどお願いいたします。

全館休館日 2月13日(火)



● 第170回 「芥川賞」・「直木賞」が発表されました

| | | | |
|-----|-------|-----------------|------------------------------|
| 芥川賞 | 九段 理江 | 東京都同情塔 | 雑誌「新潮」23年12月号掲載 新潮社(受入予定) |
| 直木賞 | 万城目 学 | 八月の御所グラウンド(F-マ) | 文藝春秋 |
| | 河崎 秋子 | ともぐい(F-カ) | 新潮社 |

惜しくも受賞には至りませんでした。こんな本も直木賞候補に入っていました。

- ・なれのはて 加藤 シゲアキ 講談社 (F-カ)
- ・襷(たすき)がけの二人 嶋津 輝 文藝春秋 (F-シ)
- ・ラウリ・クースクを探して 宮内 悠介 朝日新聞出版 (F-ミ)
- ・まいまいつぶろ 村木 嵐 幻冬舎 (F-ム)



● 子ども読書講演会

『文学のなかの「子ども部屋」～イギリスの子どもの本から』

中央図書館では、2月25日(日)に子ども読書講演会を開催します。

イギリスの児童文学を読んでみませんか。

- ・くまのパディントン マイケル・ボンド 作
- ・ピーターラビットのおはなし ビアトリクス・ポター さく・え
- ・風にのってきたメアリー・ポピンズ P. L. トラバース 作

●親子えほんの会（毎月第1金曜日）

日時 2月2日(金)
①午前10時30分～10時45分
②午前11時～11時20分
対象 ①0歳の子どもと保護者
②1歳から3歳までの
子どもと保護者
定員 各15組(先着順)

●えほんのじかん（毎月第2・4土曜日）

日時 2月10日、24日(土) 午後2時～2時30分
対象 3歳以上の子ども 定員 30人

●おはなし会（毎月第1・3・5土曜日）

日時 2月3日、17日(土)
午後2時～2時30分
対象 4歳以上の子ども 定員 30人

すべて開催場所は「おはなしのへや」です。